

第8節 消 防 関 係

1 消防

(1) 常備消防

ア 消防総務一般事業

25,826,834 円

消防職員が業務を遂行するための基本的な勤務環境の整備及び充実を図った。また、広島県消防学校への派遣研修や必要な資格の取得などにより、職務能力の向上を図った。

特定業務従事者等健康診断業務委託料

1,640,457 円

(単位：人)

	教育種別	参加人数	教育・研修等の目的
広島県消防学校	初任教育	6	新たに採用された消防職員及びこれに準ずる職員に対し、消防の使命と責務を認識させるとともに、消防に関する基礎的な知識・技術を修得させる。
	専科教育救助科	3	救助技術に関する知識・技術を修得させるとともに、困難で苛酷な状況下でも必ず救助するという不屈の精神力、旺盛な士気及び強靱な体力を養成する。
	専科教育救急科	4	救急隊員の資格を取得させるとともに、さらに高度な応急処置等に必要な専門的な知識・技術を修得させる。
	専科教育予防査察科 (防火査察課程)	1	防火査察に関する知識・技術を修得させるとともに、予防技術検定(防火査察)の受験資格を取得させる。
	専科教育予防査察科 (消防用設備等課程)	1	消防同意、消防用設備等に関する知識・技術を修得させるとともに、予防技術検定(消防用設備等)の受験資格を取得させる。
	専科教育警防科	2	防災関係法令の専門的知識、災害対策に関する知識、各種災害事象に対する基本的消防戦術、災害現場において適切・効果的な指揮ができる知識・技術を修得させる。
	幹部教育初級幹部科	2	初級幹部(主として消防司令補級)としての責務、事務管理、指導能力等に関する知識・技術を修得させる。
	特別教育現場指揮者養成教育	2	現場指揮者としての必要な知識・技術を修得させる。
	特別教育上級救助隊員コース	2	高度救助隊等の要件となる「人命救助に関する専門的かつ高度な技術・知識」を修得させる。

イ 消防庁舎等維持管理事業

39,059,680 円

廿日市消防署、西分署、佐伯消防署、大野消防署及び宮島消防署各庁舎の安全性、利便性の向上及び良好な執務環境を確保するため、維持管理を行った。

消防庁舎維持管理業務委託料

7,493,530 円

ウ 消防通信施設維持管理事業

65,661,498 円

高機能消防指令センターの指令及び通信設備の維持管理を行い、119番通報の受信、出動部隊の指令・管制、消防通信の確保・管制、消防職員・団員の招集及び災害情報の収集・連絡・記録等、通信指令業務の安定運用を行った。また、「Live119 映像通報システム」の運用により、通報者の位置情報や映像を確認して適切な消防力を投入し現場活動を行った。さらに、「NET119 緊急通報システム」を運用し、聴覚や発話に障がいのある人が音声を使わず簡単な操作で緊急通報が行えるようにしている。

サービス利用料

1,386,000 円

エ 吉和地域消防事務委託負担金

19,168,837 円

吉和地域の消防体制の確保を図るため、「消防事務の一部の事務委託に関する規約」に基づき、広島市に委託している消防事務に要する経費を負担した。

オ 予防活動事業

1,709,045 円

市民に対し、火災予防の普及啓発を推進し、防火意識の高揚を図った。また、事業所に対し、防火対象物や危険物施設等の位置、構造、設備及び管理状況等に関する指導強化を図り、火災予防対策を推進した。

カ 救急活動事業

11,191,951 円

救急活動や救命講習に必要な消耗品や救急救命処置に必要な資器材を購入し、救急活動を実施した。

救急活動用消耗品費

8,049,374 円

救急活動用備品購入費

638,000 円

キ 救急救命士育成事業

6,339,227 円

救急医療体制の充実を図るため、救急救命士の養成、現任の救急救命士の再教育等を実施した。

(単位：人)

概 要	令和4年度	令和5年度	令和6年度
救急救命士養成	2	2	2
指導救命士養成	1	1	1

ク 消防資機材等管理事業

5,847,610 円

火災や水難に加え、近年増加している風水害等に対応するため、消防用ホース、潜水活動用資機材等を更新し、人命救助に必要な土砂風水害対策資機材を配備することで、複雑多様化する災害に対する体制強化を図った。

土砂風水害対策資機材購入費

2,128,896 円

消防資機材購入費

896,500 円

ケ 高規格救急自動車整備事業

79,677,780 円

救急搬送業務を安全かつ迅速に実施するため、平成25年度に廿日市消防署、平成26年度に大野消防署に配備した高規格救急自動車を更新した。

(単位：台、円)

概 要	対 象	数 量	事 業 費	うち補助対象事業費
高規格救急自動車購入	廿日市消防署	1	38,940,000	0
高規格救急自動車購入	大野消防署	1	40,513,000	0

コ はしご付消防自動車整備事業

249,945,210 円

災害現場において高所から放水可能であり、かつ、高所での人命救助を可能とするため、平成19年度に廿日市消防署に配備したはしご付消防自動車を更新した。

(単位：台、円)

概 要	対 象	数 量	事 業 費	うち補助対象事業費
はしご付消防自動車購入	廿日市消防署	1	249,700,000	0

(2) 非常備消防（消防団）

ア 消防団活動運営事業

101,593,735 円

消防署と共に市民の生命、身体及び財産を各種災害から守るため、火災の予防と各種災害による被害の軽減、防止活動を行った。また、消防団の施設、組織の充実を図るとともに、各種教育訓練を通して、消防に関する高度な知識の修得と技術の向上を図った。

(7) 消防団員の教育・研修等の実施状況

a 特別教育訓練指導員科（県訓練指導員）

消防団員の防災技術の向上に必要な教育訓練の指導に要する知識・技術を修得するため、県訓練指導員3名を広島県消防学校に入校させた。

b 特別教育訓練指導員科（市町訓練指導員）

消防団員に必要な訓練礼式及びポンプ操法の指導者として必要な知識・技術を修得するため、副分団長1名、部長3名及び班長3名を広島県消防学校に入校させた。

c 幹部教育上級幹部科

消防団の上級幹部として、組織の管理及び消防団活動に必要な知識・指導力・統率力を修得するため、団長1名及び副団長5名を広島県消防学校に入校させた。

d 幹部教育指揮幹部科（分団指揮課程）

分団本部等での指揮幹部として必要な知識・技術を修得するため、副分団長1名、部長1名及び班長1名を広島県消防学校に入校させた。

e 幹部教育指揮幹部科（現場指揮課程）

消火・救助・避難誘導・災害情報収集伝達等の現場指揮者として必要な知識・技術を修得するため、分団長1名、副分団長1名及び部長1名を広島県消防学校に入校させた。

f 機関科

消防用車両や消防ポンプ等の運用に必要な知識・技術を修得するため、部長1名、班長2名及び団員1名を広島県消防学校に入校させた。

g 特別教育一日入校

消防団員として必要な基本的な知識・技術を修得するため、班長3名及び団員12名を広島県消防学校に入校させた。

(イ) 消防団員数の推移(各年度3月31日時点)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
消防団員数(人)	555	559	530

(ウ) 消防団員の訓練実施状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実施回数(回)	224	452	422
参加人数(人)	4,225	7,747	6,188

(エ) 消防団員の年額報酬・出勤報酬等支払状況

年額報酬	20,495,270 円
出勤報酬等	35,148,000 円

(オ) 広島県消防協会廿日市支部補助金 4,083,000 円

(カ) 宝くじコミュニティ助成事業(地域防災組織育成区分イ)

一般財団法人自治総合センターが宝くじの普及広報を目的として募集するコミュニティ助成事業を活用し、消防団活動備品を配備した。

水害対策用ゴムボート2艇 1,094,500 円

イ 消防団車庫維持管理事業 8,370,579 円

第10分団消防団車庫の屋根改修、その他消防団車庫の維持管理を行った。

(単位: 円)

概 要	施工箇所	事 業 費	うち補助対象事業費
第10分団消防団車庫屋根改修工事	中津谷	3,696,000	0

ウ 消防団車庫整備事業 32,169,500 円

第12分団消防団車庫の移転建替えに伴う、建設工事等を行った。

(単位: 円)

概 要	施工箇所	事 業 費	うち補助対象事業費
第12分団消防団車庫整備工事	宮島口	30,871,500	0
第12分団屋外掲示板及び下足箱設置等工事	〃	1,298,000	0

(3) 消防施設

ア 消防庁舎整備事業 455,552,382 円

佐伯消防署の敷地・施設の狭隘化及び老朽化等の課題を解消し、防災拠点施設としての機能強化を図るための佐伯消防庁舎の移転・建替整備を令和3年度から令和6年度にかけて実施し、令和6年度は整備工事及び備品購入等を行った。また、宮島地域における消防施設の再整備について基本的な条件をとりまとめることを目的として「宮島地域消防施設再整備基本計画」を策定した。

(単位: 円)

概 要	施工箇所	事 業 費	うち補助対象事業費
佐伯消防署整備工事監理業務委託料	津田	11,528,000	0
佐伯消防署整備工事	〃	264,000,000	0
佐伯消防署整備電気設備工事	〃	105,693,500	0
佐伯消防署整備機械設備工事	〃	55,961,400	0
佐伯消防署新庁舎フェンス及び案内看板設置工事	〃	1,298,000	0
佐伯消防署整備に係る備品購入費	〃	7,335,680	0
宮島地域消防施設再整備基本計画策定業務委託料	宮島町	4,180,000	0

(4) 防災

ア 防災一般事業 4,113,235 円

(ア) 災害発生時に迅速かつ的確に行動するために、職員を対象とした図上訓練を実施し、災害対応に関する知識や技能等を習得した。

廿日市市災害対策本部運営訓練実施業務 1,320,000 円

- (イ) 迅速かつ的確な災害対応及び防災意識の醸成につなげるため、職員 6 名が防災士資格を取得した。
防災士養成講座研修負担金等 213,000 円

イ 自主防災活動推進事業

4,038,968 円

- (7) 出前トーク等の実施
防災の専門的な知識を有した職員を 3 名配置し、市民を対象に防災をテーマとした出前トークや、児童・生徒を対象とした防災教育等を実施し、防災意識の向上を図った。

出前トークの実施状況

年 度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
実施回数 (回)	36	34	49
参加人数 (人)	981	856	1,474

防災教育の実施状況

年 度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
実施回数 (回)	17	24	14
参加人数 (人)	2,133	2,542	1,887

- (イ) 防災リーダーの養成
防災士養成講座研修事業を実施し、地域の自主防災活動のリーダー的な役割を担う防災士を養成した。
防災士養成講座研修負担金等 567,000 円

養成状況

年 度	令和 4 年度まで	令和 5 年度	令和 6 年度	累計
養成人数 (人)	243	49	14	306

- (ウ) 自主防災組織補助金
自主防災組織活動を支援するため、補助金を交付した。
自主防災組織 25 団体 2,692,000 円

ウ 応急物資管理事業

6,221,621 円

- 避難所の生活環境を整えるため、食糧、毛布、簡易ベッド、携帯トイレ等の応急備蓄物資を購入した。
消耗品費等 4,654,651 円

エ 防災情報システム管理事業

133,804,550 円

- (7) 迅速かつ的確な災害対応や情報発信を行うため、市全体の災害情報を一元的に集約し、庁内で共有する防災情報共有システムを構築した。
廿日市市防災情報共有システム構築業務委託料 79,090,000 円
- (イ) 広島県が実施する広島県総合行政通信網再編整備工事（衛星系）費用の一部を負担した。
広島県総合行政通信網設置再編整備工事（衛星系）負担金 8,976,491 円
- (ウ) 市有地の売却に伴い、防災行政無線設備の移設工事を実施した。
前空三丁目防災行政無線設備移設工事 6,930,000 円